

平成 24 年度東海・北陸地区国立高等専門学校技術職員研修会報告

技術室 ものづくり系班 佐々木 俊亮

1. 目的

この研修は、東海・北陸地区の国立高等専門学校に勤務する技術職員に対して、その職務に必要な知識を修得させるとともに相互啓発の機会を与えることにより技術職員の資質向上を図ることを目的とする。

2. 実施日

平成 25 年 8 月 28 日 (水) ～ 8 月 30 日 (金)

3. 主催

東海・北陸地区国立高等専門学校

4. 会場

富山高等専門学校

5. 研修内容

8/28 (水) 開講式・ オリエンテーション

研修①・② 学校自慢と業務紹介・情報交換 (発表)

講評：富山高専 副校長 (技術室長) 丁子 哲治

8/29 (木) 研修③ 講義「発達障害者への特別支援に関して」

講師：坂本 美奈子 (カウンセラー)

研修④ 講義「イノベーション人材育成のために～技能と技術と熱意で～」

講師：富山高専 副校長 (技術室長) 丁子 哲治

研修⑤ 施設視察 (実験・実習環境)

研修⑥ 講義及び実習「衝撃吸収装置の製作実習」

講師：富山高専機械システム工学科 本江 哲行

技術室 川越みゆき

研修⑦ 演習「Staff Development (能力開発) について」

講師：富山高専技術室 小澤 妙子

小泉 敦

8/30 (金) 研修⑧ 講義及び実習「科学実験演示に関して」

講師：科学館サイエンスプロデューサー 戸田 一郎

閉講式

6. 所感

技術職員研修会に初めて参加するという事で緊張していたが、いざ始まってみると機械系・工場系の参加者が多く、偶然にも自分と同じような機械を扱っている方も何人かいたため、有意義な情報交換ができた。

富山高専では本校の工学基礎のような学科を超えて体験する実験を行っているということで、研修⑥の実習では富山高専で実際に行っている授業の一つを体験した。「学生に工学というものに興味を持ってもらう」という狙いのもと担当教員と技術職員が話し合いながら授業の課題・資料などを考えたらしく、そういった点は見習いたいと思った。

また、発表は「学校自慢と業務紹介」というテーマだったが、キャリアや立場によってどういう部分を自慢とするか、違いが見えてきて興味深かった。今後、他の研修に参加するためにも自己研鑽を行い発表の題材の準備を進めたいと思う。